

**令和6年度「浜通り復興リビングラボ～サイエンス×官民共創まちづくり～」  
実証事業提案の公募を開始します！**

復興庁では、福島国際研究教育機構（Fukushima Institute for Research, Education and Innovation、通称F-REI）、福島県等のパートナーと連携しながら、浜通り地域等において、民間企業等の最先端の知見や技術、ノウハウを活かした官民のパートナーシップにより、生活環境向上のための実証事業に取り組むプログラム「浜通り復興リビングラボ」を、令和5年度から開始しております（別紙）。

※リビングラボとは、生活の場を実験場としてイノベーションを実践するようなプログラムであり、このリビングラボを通じて、生活環境向上のための官民パートナーシップが浜通りに形成されることが期待されます。

令和5年度においては、8企業のご協力のもと、6つの実証事業が7市町村において実施されたところです。令和6年度も、福島県浜通り地域等において、生活環境向上のための実証事業のご提案を募集いたします。現地の生活環境課題に関するオンライン説明会や現地視察ツアーも開催します。募集要項等の詳細は、復興庁ホームページを参照ください。

<https://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat1/sub-cat1-15/20230823110219.html>

○生活環境課題に関する自治体からのオンライン説明会

日時：令和6年4月16日（火） 13:30～

○現地視察ツアー

日時：令和6年4月23日（火） 終日（日帰り）

**【オンライン説明会、現地視察ツアーお申し込み方法】**

生活環境課題に関するオンライン説明会や現地視察ツアーに参加希望の方は、下記の間合先まで令和6年4月15日（月）18時までにご連絡ください。現地視察ツアーは定員に達した場合、抽選とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

**【お申込・問合先】復興庁 福島広域まちづくり班**  
笠間、中村、石川

TEL : 03-6328-0246 E-MAIL : g.machi.v5f@fukko.go.jp

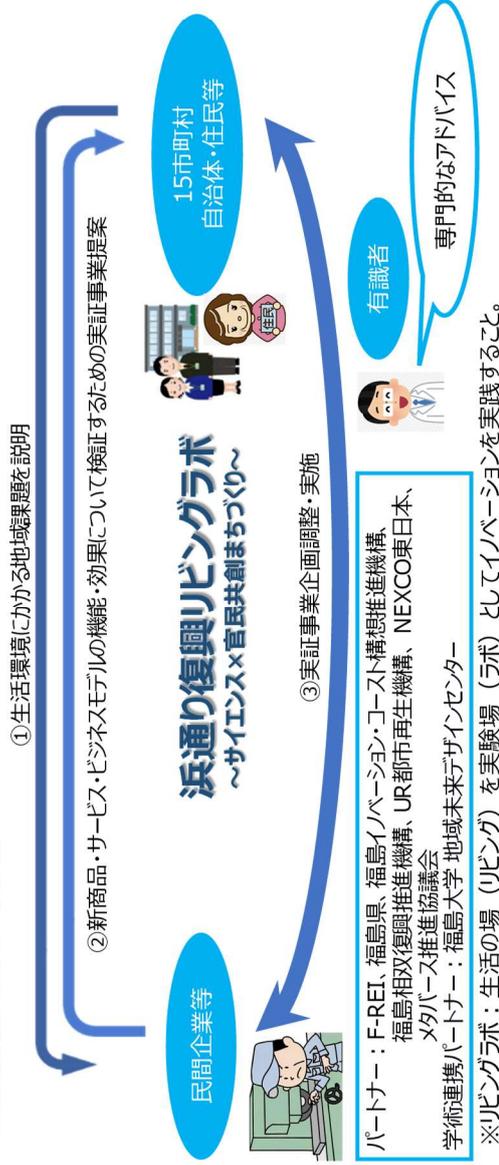
# 浜通り復興リビングラボ ～サイエンス×官民共創まちづくり～

## 背景・目的

- ・福島国際研究教育機構(F-REI)が浜通りに立地することにより、国内外から研究者やその家族が浜通りに移住・定住することが想定され、浜通りでは、従来の住民や移住者のもとより、今後来訪する研究者のためにも**生活環境を向上**させていくことが期待される。
- ・F-REIにおいて、多くの実証事業が浜通り地域において実施されることとなり、**地元の実証事業受入能力の更なる向上**が必要。  
⇒最新のサイエンスやテクノロジーを積極的に活用し、**住宅、医療、教育、交通、買物等の生活環境に係る地域課題の解決**につなげることを目指すとともに、**浜通り地域における実証事業受入能力向上**を支援するため、「浜通り復興リビングラボ」事業を実施する。

## 浜通り復興リビングラボ～サイエンス×官民共創まちづくり～

**住む（住宅）、出かける（交通）、学ぶ（教育）、癒やす（医療）、楽しむ（買物・娯楽等）**といった生活環境分野で、**産学官の協働のもと、実証事業の企画・実施を行い、地域における生活環境向上**につなげる。



## R6年度スケジュール

- 4月：4/5(金)実証事業参加企業公募開始  
4/16(火)公募企業向け説明会  
(地域課題共有)
- 4/18(木)企業間意見交換会@復興庁  
4/23(火)現地視察
- 5月：5/31(金)公募メッチ
- 6月：マッチング会議発表企業決定  
第1回シンポジウム・マッチング会議  
実施プロジェクト決定・発表  
実証事業企画調整  
調整が整った事業から順次実施  
(原則としてR7年度末まで)
- 3月：第2回シンポジウム  
専門家による実証事業総評

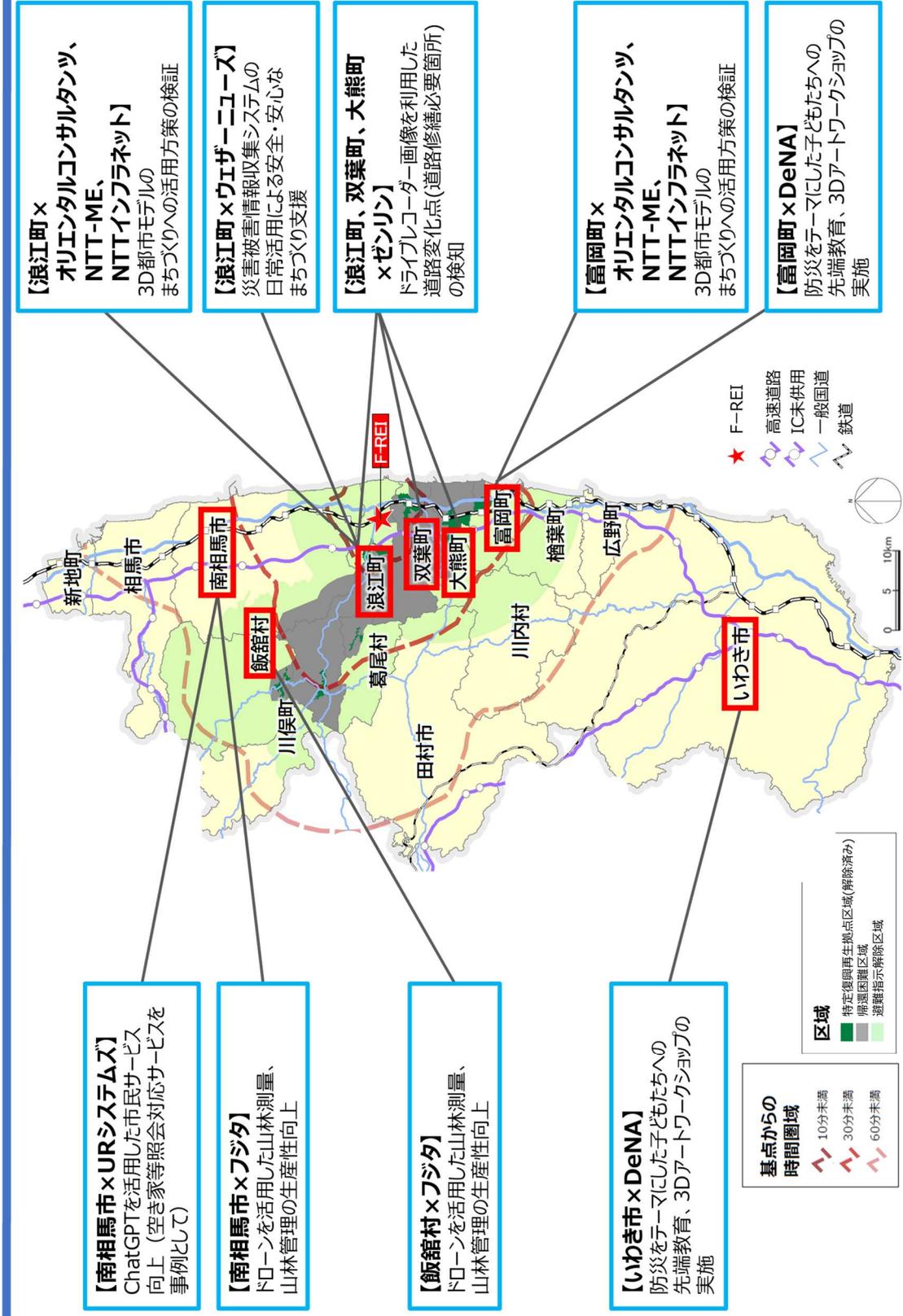
## 参加の主なメリット(自治体)

- ・民間企業の知見や財源を活用しながら、地域課題を民間企業と共に最新技術で解決する、**地元主体のまちづくり**を実現できる。
- ・未来のまちの姿に向け、地域住民が**新商品・サービス・ビジネスモデルを使ったより良い暮らしを一足先に体験**することができる。
- ・実証から実装へ向けた展開を支援することにより、浜通りにおける**地域課題の解決**、ひいては**F-REI研究者受け入れ環境の向上**につなげられる。

## 参加の主なメリット(民間企業)

- ・地域住民が生活の中で抱える課題に即して、**新しい商品・サービス・ビジネスモデルの開発**を行うことができる。
- ・参加者募集や関係団体等との調整など、**受入自治体や復興庁、専門家の支援**が得られる。
- ・「福島復興」という**社会的意義のある目標**に貢献できる。
- ・技術的な課題について、**将来のF-REI研究との連携も視野**に入る。

# 浜通り復興リビングラボ【令和5年度実証事業マッチング結果】



## 浜通り復興応援ビジネスネットワーク (通称：チーム浜通り)

【目的】リビングラボ事業等を通じて、福島県浜通り地域等における復興の状況や復興施策など情報共有しながら、会員間での連携を推進する。

【パートナー】福島国際研究教育機構 (F-REI)、福島県、福島イノベーション・コースト構想推進機構、福島相双復興推進機構、UR都市再生機構、NEXCO東日本、**メタバース推進協議会**

【学術連携パートナー】**福島大学 地域未来デザインセンター**

【会員企業：計32社】 ※**赤字**はR5年度実証事業提案企業、**青字**は令和5年9月の設立時以後本日まで新規加入した企業

業種	社名	業種	社名
情報通信業・ITサービス	(株)アルム	建設業・住宅	會澤高圧コンクリート(株)
	(株)ウエザーニューズ		大林道路(株)
	NTTインフラネット(株)		首都高技術(株)
	(株)NTTデータ経営研究所		首都高道路(株)
	(株)NTT-ME (NTT東日本グループ)		大成建設(株)
	(株)ゼンリン		大和ライネクスト(株)
	ソフトバンク(株)		(一財)日本みち研究所
	(株)DeNA		パナソニックホームズ(株)
	(株)電通総研		(株)フジタ
	MONET Technologies(株)		(株)アバンアシエツ
サービス業	(株)URシステムズ	(株)オリエンタルコンサルタンツ	
	カルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)	(株)構造計画研究所	
	(株)博報堂	国際航業(株)	
	(株)ベネッセコーポレーション	デロイト トーマツ ファイナンシャル アドバイザリー(同)	
商社	(株)ヤマザキ	(一社)Ag Venture Lab	
	住友商事(株)	(株)スマートアグリ・リレーションズ	